

なかの



10月号

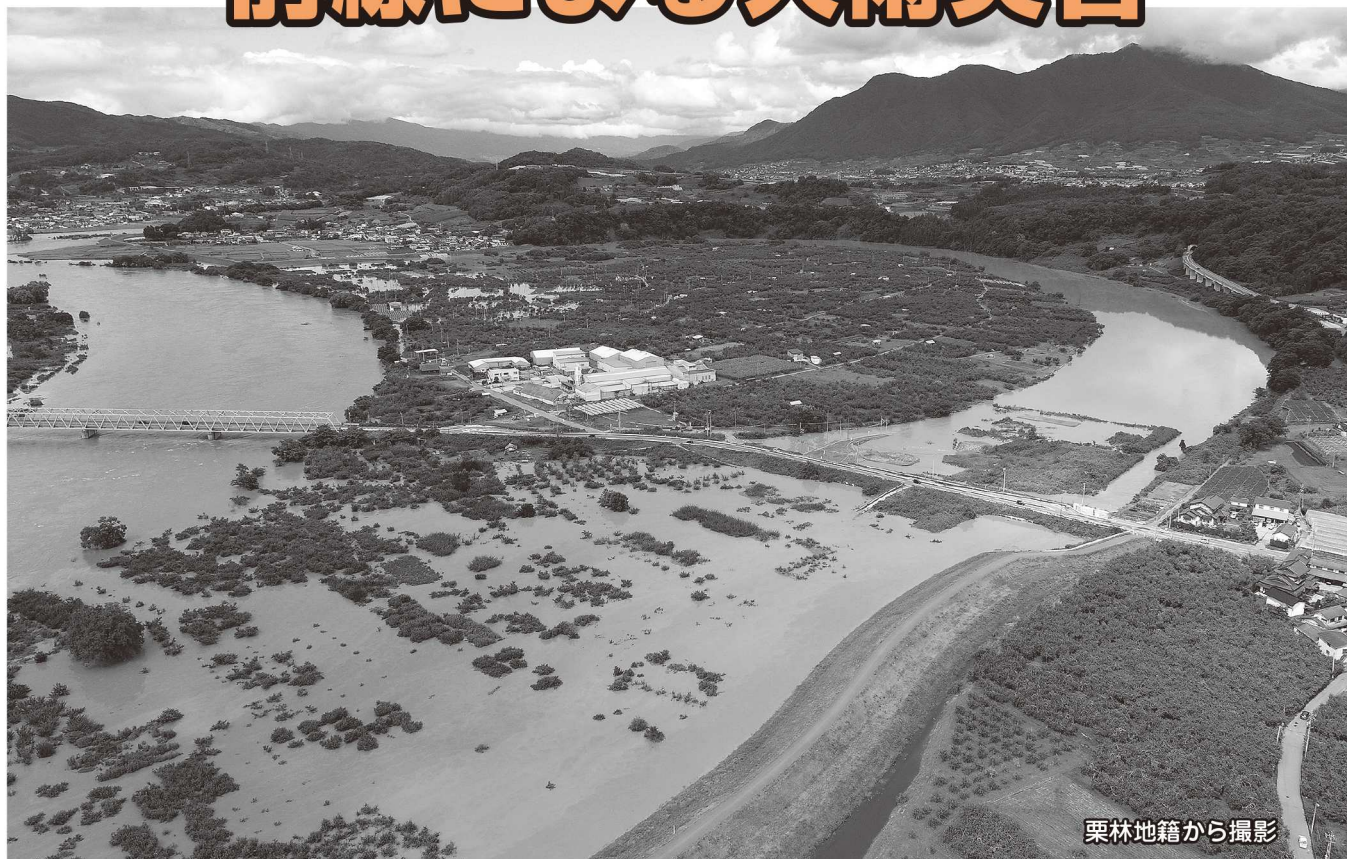
# 市議会だより

2021年(令和3年)  
10月20日発行  
No.66

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)

## 令和3年8月 前線による大雨災害



栗林地籍から撮影

● 市政一般質問	その他	意見書案	人事案	事件案	決算案	予算案	規則案	条例案	● 議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
25件	1件 1件	1件	1件	4件	9件	8件 2件	1件	3件		24日間	9月24日	9月1日
	選任 可決	可決	適任	可決	認定	可決 承認	可決	可決				

9月定例会





## 新型コロナウイルス 感染症対策について

阿部 光則

**質問** ワクチン接種の経過はどうか。

**答弁** 5月から中高医師会、北信病院の協力のもと、85歳以上、65歳以上、60歳以上と順次接種を開始し、高齢者、障がい者施設での巡回接種と訪問接種も開始した。その後、7月末から59歳以下の接種を始め、ワクチンの供給状況を見ながら進めてきている。予約の混雑を避けるため、年齢を区分けして受け付け、現在は

対象としている全ての年齢の予約を受け付けている。11月末で接種希望者の8割を目途に進めている。

**質問** 接種の実績はどうか。

**答弁** 8月末時点で65歳以上の1回目接種率は94・2%、2回目接種率は92・4%、12歳から64歳までの方の1回目接種率は37・1%、2回目接種率は22・2%で、全対象者の1回目接種率は57・6%、2回目接種率は47・5%である。

**質問** 感染の第5波となり、新規陽性者が全国で爆発的に広がっている。感染力が高いデルタ株が主流である。家庭内感染も含め、この地域での感染拡大をどう防ごうかが重要と考えるがどうか。

**答弁** デルタ株は感染力の強さや重症化しやすさが指摘されており、大変危機感を持っている。北信圏域でもデルタ株の感染が確認されており、感染対策の正しい知識の周知に努めていく。

**質問** 日本の陽性者とは異なる性質をしっかりと区別しない対応は、科学的な感染症対応ではない。PCR検査等への対応は今後の重要な課題であると考えがどうか。

**答弁** 長野県では、新たに

市町村と連携し「新型コロナウイルス抗原簡易キットを活用した陽性者の早期発見促進事業」を警戒レベル5以上の地域に居住し、希望する方を対象に実施する。

## 国民健康保険制度について

**質問** 国保は世帯人数に応じた均等割がある。子ども

の人数が増えれば負担が増え、家計を圧迫する。子育て支援の充実として子ども

の均等割のさらなる軽減を実行したらどうか。

**答弁** 子どもの均等割の軽減は、地方税法が改正され、令和4年度から未就学児の均等割軽減が実施されるた

め、市独自の軽減策は考えていないが、引き続き国の動向を注視し考えていく。

## 市営住宅について

**質問** 市営住宅入居時に保証人を求めている。国は撤廃を求めているがどうか。

**答弁** 緊急時の連絡先の把握などで必要なため、保証人の選任をお願いしている。



## 盛土造成地の防災 について

中村 秀人

**質問** 市内盛土造成地の現状と県の緊急点検の結果は。

**答弁** 令和元年度の国の調査では、市内に盛土造成地

は41カ所抽出されている。

熱海市の土砂災害を受け、8月に道路改良工事による盛土4カ所を加えた45カ所

の点検が行われ、擁壁等の構造物に15カ所の亀裂等が報告された。今後、県と対応等を検討していきたい。

**質問** 盛土造成地上の公共施設の現状および市営住宅の更新計画の検討状況は。

**答弁** 該当施設は旧倭小学校など11施設で、現状、危険な状態ではない。市営住宅については、中野市営住

宅等整備検討委員会において、東山第一団地の更新について改修を含め、いくつかの手法による検討を行っており、今年度中を目途に方向性を決定したい。

## 地域防災力の向上について

**質問** マイ・タイムライン

作成のさらなる啓発活動は。  
**答弁** 昨年度から講習会を開催し、今年度も4公民館で開催した。避難行動を事前に決めておくことにより、災害時には速やかな行動に繋がるものと考えている。今後は、中野まなび塾の講座メニューに加えるなど、引き続き啓発活動に努める。



保育園児及び小中学校の  
児童・生徒のICT活用  
について

質問 学校内におけるICT活用状況と課題は。  
 答弁 国のGIGAスクール構想に基づき、市内小・中学校に高速通信ネットワークの整備と、児童・生徒1人1台のタブレット端末

を配備し、授業の中で活用している。課題として、学校間での使用状況に差が生じていることなどがある。  
 質問 新型コロナウイルス感染症防止を踏まえたオンライン授業の環境整備の考えは。  
 答弁 コロナ禍において、学校閉鎖等も想定されることから、タブレット端末を

家庭に持ち帰って学習ができるよう準備を進めている。また、家庭でのインターネット環境の調査を行い、家庭の実情に合わせて、モバイルルーターを貸し出すなど対応していく。  
 質問 インターネット利用でのトラブルや弊害とネットリテラシー教育の考えは。  
 答弁 SNSやメールのト

ラブル、睡眠時間の減少など不安を感じる児童・生徒の割合が高くなっている。学校での情報モラル教育の実施、PTA講演会において、児童・生徒、保護者等を対象にインターネット犯罪や人権に関連した研修を行い、子どもたちをトラブルから守るよう努めている。

(注)  
 ネットリテラシー  
 インターネットリテラシーの略で、インターネットの利便性、脅威やルールを正しく理解し、適切に判断、使用するための能力のこと。



夜間瀬川治水対策  
について

永沢 清生

質問 夜間瀬川堤防越水箇所について現地確認はしているか。

答弁 令和元年東日本台風において、越水した箇所や柳沢区から要望のあった箇所を現地確認している。

質問 堤防かさ上げについて県への要望内容と進捗状況は。

答弁 関係する同盟会と連携し、折橋上流の堤防一部区間のかさ上げを要望している。県では、今のところ、

かさ上げの計画はないとのこと。

質問 地元区へ説明をするべきではないか。

答弁 今後、県との情報交換をする中で、動きがあれば、説明会等を開催する。

令和3年8月前線による  
大雨災害について

質問 繰り返しされる冠水に  
対するこれまでの対応は。

答弁 令和元年東日本台風

の際には、国の補助事業を受け、農機具の再取得や農業用施設の修繕等、営農継続に向けた支援を実施した。  
 質問 冠水に対する今後の対応は。

答弁 異常気象を起因とした千曲川の増水によるものであり、これを防ぐことは、大変難しいと考えている。

質問 冠水する農地のかさ上げをしてはどうか。

答弁 関係する地権者の同意が得られるのであれば、土地改良事業等補助事業が活用できるか研究していく。

質問 圃場移転に対する支援をしてはどうか。

答弁 土地改良事業の条件を満たすことができれば、移転先の圃場整備をするこ

とは可能である。

農業振興地域農用地につ  
いて

質問 土地改良されていて、農業振興地域農用地区域に編入されていない農用地が中野市にどのぐらいあるか。

答弁 把握していない。

質問 農業振興地域への編入を進めてはどうか。

答弁 市として、農業振興地域への編入を積極的に推進している。







### 市民会館リノベーション事業について

高木 尚史

**質問** 7千975万円で契約した設計書が、入札で2回不調となった原因は何か。また、今後の対応はどうか。

**答弁** 原因調査と分析の結果、木材価格の高騰、建設資材の高騰および人件費の上昇など全体で3割程度上昇した。今後は、設計積算を見直して、新庁舎建設時の残土を活用したい。

**質問** 設計の見直し等による事業費の変更はどうか。

**答弁** 6億5千万円の増額を見込み、有利な起債を活用して市の負担を抑える。

**質問** 設計変更による完成時期の見通しと、完成後の運営形態の方針はどうか。

**答弁** 来年度内の完成を目指す。指し手続を進める。運営形態は、舞台等の専門技術者の民間委託や、指定管理者制度の導入を含め検討をして、令和5年度予算編成時までに決定したい。

### 都市計画道路吉田西条線の先線について

平成21年に都市計画マスタープランで構想道路とし、その後追加候補路線として公表された。先線の効果に対する認識はどうか。

**答弁** 市街地の外環道としての機能を有することから、必要性が高い路線であると認識している。

**質問** 検討の経緯と、地権者や該当区などに対する対応の経緯はどうか。

**答弁** 線路との交差方式を鉄道会社と協議してきた。関係区へは、平成27年に整備方針等を研究していく旨を説明した。

**質問** 課題は何か。

**答弁** 国土交通省令では平

面交差は難しいと考えられるが、平面交差の条件として、計画幅員と同等の幅で他の踏切道の廃止が必要であること等が課題である。

**質問** 財政的な試算と今後の対応はどうか。

**答弁** 平面交差に比べ、地下横断路は約2倍、跨線橋は約3倍との試算。今後は都市計画マスタープランの見直しの中で検討したい。

### 指定管理者制度について

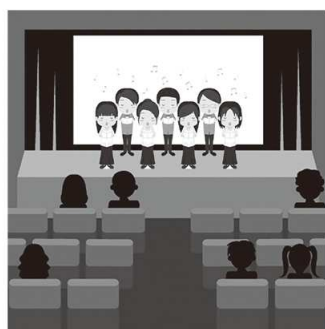
**質問** 指定管理者は年度終了後、事業報告書を提出するが、市の事業評価の考察と財政的效果はどうか。

**答弁** 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて評価結果が低い施設が多くあ

ったが、経営努力では避けることができなかつたと承知している。平成30年度と比較すると指定管理料は抑えられている。

**質問** 指定期間中に辞退するなど課題が出ているが、今後の方針はどうか。

**答弁** 民間委託や指定管理者制度の導入など、十分に検討したい。



### 随意契約について

松樹 純子

**質問** 昨年1月に策定施行された随意契約ガイドラインの影響は。

**答弁** 随意契約を行うことができる基準が、より明確に規定されたことにより、

全市的に統一された事務処理が行われている。「競争見積方式」が増え、「特命随意契約」が減少してきており、より競争性が担保されていると考えている。

**質問** 少額随意契約はどのようなに行われているか。

**答弁** 原則、市内業者の中から、特定の業者に偏らな

いように行っている。

### 引きこもり、不登校への支援について

**質問** 引きこもりについては、県が具体的な支援の検討に乗り出したが、市内の引きこもりの現状をどの程度把握しているか。

**答弁** 先月末現在20人を支援しているが、この数は市全体の一部であり、実際にはそれ以上の方がいるものと考えている。

**質問** 支援体制は。

**答弁** 関係課および関係機関と連携しながら随時、訪問や面談、支援会議を行うなど、その方に合わせた支

援を行っている。

質問 支援で困難な点は。

答弁 実態把握が難しく、

長期に渡る支援が必要となるなどの課題が挙げられる。

質問 長野県は今年度から

「不登校児童生徒に対する

学びの継続支援事業」を始

めた。来年度は中野市もこ

の事業によるサポートを受

けられると思うが、中野市

の現在の不登校児童・生徒

への支援体制は。

答弁 学校に専門職を配置

し、早期発見、早期解決に

努めている。また、中間教

室で学習支援等を行っている。

さらに、不登校児童・

生徒が登校した際には、学

校生活に適応できるように

さまざまな工夫を図っている。

質問 支援で困難な点は。

答弁 家庭や学校以外の児

童・生徒の居場所の選択肢

が少ないこと、正しい個人

情報を得ることが困難なこ

とが挙げられるが、今後も

支援体制の充実を図ってい

きたい。

### 高校再編整備について

質問 県教育委員会の高校

再編整備計画【二次】(案)

のとおり再編整備が行な

われた場合、市への影響は。

答弁 市民の中にさまざまな

な影響を懸念する声がある

ことは承知しているが、少

子化の現状などを考えると

計画案はやむを得ない。

質問 市から県教育委員会

に要望すべきことがあるの

では。

答弁 今後、適時適切に市

の意向を伝えていきたい。

その他の質問

・市長が描く未来ふるさとについて

(注)

### 高校再編整備計画【二次】

長野県教育委員会が、

令和3年9月に決定した

「高校改革」夢に挑戦す

る学び「再編・整備計画

【二次】」では、中野市

にある中野立志館高等学

校と中野西高等学校を再

編統合し、中野総合学科

新校(仮称)の1校とす

ることとしています。



## 中野市バイオマス産業都市構想について

宮島 包 義

質問 バイオマス利用目標

に対する進捗状況は。

答弁 令和元年7月に策定

した構想において、市内に

存在していると算出されて

いる年間18万5千543tの使

用済みきのこ培地や剪定枝

などのバイオマス資源を、

構想期間最終年度の令和11

年度に100%利用することを

目標に掲げている。また、

本構想において、今後有効

活用するバイオマス資源の

活用方針として、使用済み

きのこ培地バイオガス化お

よび木質バイオマス熱利用

の2つの事業化プロジェクト

を策定し、その実現に向

け、事業の推進を図ってい

る。

質問 各事業化プロジェクト

の進捗状況は。

答弁 使用済みきのこ培地

バイオガス化プロジェクト

の事業化に向け、民間事業

者がバイオガス発電事業に

向けた基本設計の着手を予

定している。木質バイオマ

ス熱利用プロジェクトにつ

いては、事業者から技術提

案等は受けているが、具体

的な事業化に向けた動きに

### 人・農地プランについて

質問 若い農業者を含め参

加者の拡大を望む声に対し

ての対応は。

答弁 人・農地プランの取

り組みについては、毎年1

回(令和2年度は中止)、

農政懇談会を開催し、地域

農業の課題について、意見

交換を行っている。より多

くの農業者が参加し、活発

な話し合いができるよう、

農業委員会やJA、JA青

年部などの関係機関と連携

し、取り組んでいく。







### 長野県教育委員会の高校再編整備計画案について

中村 明文

質問 住民説明会が終了した。中野市に計画されている高校は、総合学科の新高校1校とされ、普通科が措置されていない。この計画案に対する市長の考えは。

答弁 計画案において、市内に普通科が措置されていないことについて、計画案では、普通科ではないものの、大学進学を目指す生徒に対応した科目選択の充実を図るとのことであり、大学進学も含めた選択肢は、再編後も失われるものでは

ないと感じている。

質問 計画案に対する教育長の考えおよび保護者の計画案に対する意見の把握は。

答弁 市教育委員会では、計画案に対する小・中学校の保護者の意見は把握していないが、5月の住民説明会に出席した際、保護者の参加者が少ない印象を受けた。7月に住民説明会を追加して開催されるに当たり、保護者全員にメールによる周知を図った。県教育委員会の説明では、大学進学を

希望する生徒に応じた科目選択を充実させるとのことであり、大学進学を目指す教育環境が確保されるよう、事あるごとに県教育委員会に意見を伝えていきたいと考えている。

### 市の財政について

質問 令和2年度決算に対する市長の認識は。

答弁 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、総じて予定していた事業は順調に執行できたと考えられる。

質問 令和4年度の予算編成について、令和3年度の歳入見通しと、令和3年度の財政調整基金ほか主要3基金の見通しは。

答弁 歳入見通しは、市税

等の一般財源について、おむね当初予算どおりの収入を見込んでいる。主要3基金の見通しは、財政調整基金は令和2年度決算の確定により、当初予算より積立金を増額し、減債基金と公共施設等整備基金は当初予算どおりの積み立て、取り崩しを見込んでいる。

質問 コロナ禍における減収事業者への支援およびアフターコロナに備えた地域振興に係る予算編成の考えは。

答弁 国・県の動向、市内の経済情勢等を十分に考慮し、検討していきたい。

質問 市民会館のリノベーション後に活用できる文化芸術振興基金の積み増しが必要だと思うがどうか。

来年度にかけて都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランの見直しを進めている。このマスタープランの方針を踏まえ、都市計画道路の機能や必要性を改めて検証し、地元の方々の意見を聞きながら進めて、必要な見直しを行っていく。

答弁 今後の文化芸術振興に係る事業の進め方および市の財政状況に鑑み検討していきたい。

その他の質問

### 職員について



### 信州中野駅前のホテル建設について

質問 2018年6月の

「中心市街地に宿泊施設を誘致する基本協定」締結時、2年以内の開業を目指すとしていたが、現在の状況はどうなっているのか。

答弁 協定を締結した企業



### まちづくりにおける都市計画道路について

塚田 一夫

質問 高度経済成長長期に決定された都市計画道路が長期期間経過し、現在では、そ

の必要性に変化が生じている路線もあると考えられる。都市計画道路の未整備区間

の8路線、約10kmについて、今後の予定はどうなっているのか。

答弁 平成29年度から令和6年度までの予定で「立ヶ花東山線」および「西町上小田中線」の整備が県により進められているが、未整備区間の8路線については着手できていない。現在、



## 総務文教委員会報告

のホームページにおいて、令和4年10月オープンとの情報が掲載されている。市としては協定締結企業と連携を図り、建設および開業・運営が円滑に行われるよう、取り組んでいるところである。

**質問** 協定では、開業後10年間は土地・建物に係る固定資産税相当額を支援するとしているが、現在、土地に係る固定資産税はどうなっているのか。

**答弁** 開業していないため、支援していない。

### コロナ禍における事業者支援について

**質問** 県から休業や営業時間短縮の協力を要請された飲食店への卸売業者など影響を受けた事業者に対して、他の自治体のように市独自の支援は考えられないか。

**答弁** 現在、支援は考えていないが、売上が大きく減

少している事業者に対し、国の月次支援金や県の特別応援金の活用を呼び掛けている。

**質問** 1年半続くコロナ禍の影響により、廃業を考慮するまで逼迫した事業者が多くなる。事業者を支援するためのさらなる経済対策の考えはないか。

**答弁** 信州中野商工会議所から「コロナ禍における緊急経済対策についての要望書」の提出を受け、信州中

野商工会議所が実施を予定している「第3弾信州なかの未来券発行事業」に対して支援することとした。

### その他の質問 市民会館のリノベーションについて

総務文教委員会に付託された条例案2件、予算案5件について、9月16日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和3年度中野市一般会計補正予算(第5号)について、補正総額4億6千797万3千円を追加し、補正後の予算総額は235億2千708万円とします。

歳入では、地方交付税8億348万5千円の増額、国庫支出金で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時

交付金など1億2千684万7千円の増額、繰入金で財政調整基金繰入金など3億9千242万3千円の減額、繰越金で前年度繰越金1億4千597万6千円の増額、市債で臨時財政対策債2億2千423万千円の減額などです。

歳出では、議会費は、議会運営費292万9千円の減額、総務費は、財政調整基金積立金1億7千298万8千円の増額、消防費は、消防器具置場新設に伴う消防施設整備事業補助金50万円の増、

教育費は、学校施設の営繕工事を行うため中学校維持整備事業費845万9千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

令和3年度中野市一般会計補正予算(第6号)について、補正総額5億170万3千円を減額し、補正後の予算総額は230億2千537万7千円とします。

歳入では、国庫支出金で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1千346万千円の増額、県支出

金で特別警報II発出事町村等事業者支援交付金など5千438万千円の増額、寄附金でふるさと寄附金3億円の増額、繰入金でふるさと振興基金繰入金など5千333万5千円の増額、市債で公共施設等適正管理推進事業債など9億2千420万円の減額などです。

歳出では、総務費で、政策推進事業費のふるさと振興基金積立金3億円の増額であり、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案2件、予算案3件については、原案どおり承認および可決されました。





## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案1件、予算案7件について、9月16日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市民体育館の役員室および会議室に冷暖房施設を設置したことから、使用料を定めるため、所要の改正を行うもので、原案どおり可決されました。

予算案では、令和3年度

中野市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について、民生費で、新型コロナウイルス感染症に関する国の緊急支援策として、生活に困窮する世帯の自立支援を目的に支給する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金276万円の増増などであり、原案どおり承認されました。

令和3年度中野市一般会

計補正予算(第5号)について、総務費(関係部分)では、北公園トイレ改修工事を行うためスポーツ施設維持整備事業費2千179万2千円の増増、民生費では、豊田地域統合保育所改修工事を行うため公立保育所維持整備事業費7千300万円の増増などであり、原案どおり可決されました。

令和3年度中野市一般会

計補正予算(第6号)について、総務費(関係部分)では、市民会館リノベーション工事費の令和3年度分の事業費の見直しに伴うものなどで市民会館維持整備事業費10億8千351万3千円の減額であり、原案どおり可決されました。

そのほかの予算案4件については、原案どおり承認および可決されました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された予算案5件、事件案3件について、9月16日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和3年度中野市一般会計補正予算(第5号)について、農林水産業費では、乗馬センター解体工事を行うため畜産振興推進事業費800万円の増増、商工費では、商店街店舗改修等支援事業補助金599万9千円の

増額、土木費では、道路等の修繕を行うため道路橋梁維持事業費690万円の増額などであり、原案どおり可決されました。

令和3年度中野市一般会計補正予算(第6号)について、農林水産業費では、農作物等災害緊急対策事業補助金136万3千円の増額、商工費では、第3弾となる信州なかの未来券発行事業補助金5千466万円の増増、

ふるさと寄附金の増額見込による返礼品に係る消耗品費等としてふるさと寄附金事業費1億7千650万円の増額、災害復旧費では、令和3年8月前線による大雨で被害を受けた農地、農薬用施設および道路の復旧工事費等4千928万5千円の増額などであり、原案どおり可決されました。

事件案では、中野市関係人口創出拠点施設の指定管

理者の指定については、DBO方式で事業実施している事業者が指定され、原案どおり可決されました。

そのほかの予算案3件、事件案2件については、原案どおり承認および可決されました。

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。  
市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。  
聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。  
音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

### 傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922  
Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



手話通訳申請  
ながの電子申請サービス

市議会を  
傍聴しませんか



# 決算特別委員会報告

9月定例会開会日におきまして、議長および議会選出の監査委員を除く議員17人による決算特別委員会が設置され、委員長に松野繁男議員、副委員長に小林忠一議員を選出し、令和2年度の決算議案の審査を行うこととしました。

なお、決算特別委員会による決算議案の審査は、今回で5回目となりました。

この決算特別委員会に付託された決算認定議案9件、事件案1件について、9月13日、14日および15日に審査しました。

主なものとして、令和2年度中野市一般会計歳入歳出決算認定については、歳入総額293億6千300万7千483円、歳出総額289億6千217万268円となるものです。

歳入では、市税は法人市民税の減などにより、前年度比0・9%の減少、地方交付税は特別交付税の減などにより前年度比5%の減少、国庫支出金は特別定額給付金給付事業費補助金および新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付

金の増などにより前年度比252%の増加、市債は保育所維持整備事業費の減少に伴う施設整備事業債の減などにより前年度比28・5%の減少でありました。

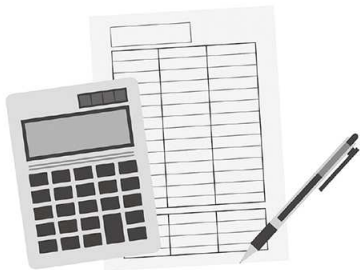
歳入全体としては、前年度比25・2%の増加でした。

歳出では、議会費は前年度比3・1%の減少、総務費は特別定額給付金給付事業費の皆増などにより前年度比184・2%の増加、民生費はひらか保保育園建設工事費の減少などにより前年度比2・8%の減少、衛生費はし尿等投入施設整備事業費の減少などにより前年度比15・5%の減少、労働費は中野地域職業訓練センター改修工事費の増加などにより前年度比15・2%の増加、農林水産業費は強い農業・担い手づくり総合支援交付金（繰越明許）の増加などにより前年度比20・9%の増加、商工費は故郷のふるさと情報発信事業費の増加などにより前年度比42・7%の増加、土木費は幹線道路整備事業費（繰越明許）の増加などにより前

年度比17・4%の増加、消防費は岳南広域消防組合分担金の増加などにより前年度比6・2%の増加、教育費は小中学校教育用コンピュータ設置事業費の増加などにより前年比5・6%の増加、公債費は前年比2・6%の増加、災害復旧費は令和元年東日本台風による災害復旧に係る事業費（繰越明許）の増加により前年度比336・5%の増加でありました。

歳出全体としては、前年度比30%の増加でした。本議案については、審査の結果、原案どおり認定されました。

そのほかの特別会計および企業会計の決算認定議案8件、事件案1件については、原案どおり認定および可決されました。



## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでいつでも本会議の様子を視聴することができます。是非、ご覧ください。

### 視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス

中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会中継 平成30年5月市議会臨時会分～

配信時期 定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。





## 意見書

## 可決された意見書

(関係行政庁に提出)

## コロナ禍による厳しい財政状況に對処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

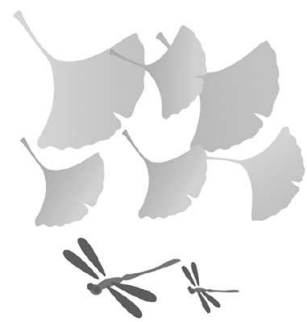
その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、中野市議会は、

国に對し、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう強く要望するものである。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今限り



りとし、期限の到来をもつて確実に終了すること。

- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとする。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

## 会議規則改正

令和3年9月中野市議定会例会において、中野市議会議規則の一部を次のとおり改正しました。

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、議員として活動するに当たつての制約要因の解消に資するため、本会議や委員会への欠席事由として育児、看護、介護等を明確にし、出産については産前・産後期間にも配慮した規定に改めました。

また、行政手続等において原則として押印を廃止する政府の政策動向および市の押印の見直し方針に基づき、市議会に對する請願に係る署名押印を見直した規定に改めました。

この改正した規則は、令和4年4月1日から施行されます。

## 長野県市議会議長会総会

7月8日および9日の両日、飯山市において第166回長野県市議会議長会総会が開催され、議長が出席しました。

総会では、退任された各市の正副議長への表彰状の伝達、会務報告の後、令和2年度歳入歳出決算および議長会として国・県へ提出する各市の要望事項について審議を行い、それぞれ可決されました。

その後、(株)地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬和彦氏による「議長の権限と議会運営のツボ」と題する講演をお聴きしました。





## 9月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	承認	議案第16号	令和2年度中野市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第2号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承認	議案第17号	令和2年度中野市倭財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第3号	中野市情報通信施設条例の一部を改正する条例案	可決	議案第18号	令和2年度中野市永田財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第4号	中野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	議案第19号	令和2年度中野市中野財産区事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案第5号	中野市体育施設条例の一部を改正する条例案	可決	議案第20号	令和2年度中野市下水道事業会計決算認定について	認定
議案第6号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第5号)	可決	議案第21号	令和2年度中野市水道事業会計決算認定について	認定
議案第7号	令和3年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第22号	中野市関係人口創出拠点施設の指定管理者の指定について	可決
議案第8号	令和3年度中野市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第23号	令和2年度中野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第9号	令和3年度中野市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第24号	道路上の事故に係る和解及び損害賠償の額について	可決
議案第10号	令和3年度中野市倭財産区事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第25号	市道路線の認定について	可決
議案第11号	令和3年度中野市中野財産区事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第26号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第12号	令和3年度中野市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第13号	令和2年度中野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	議第1号	中野市議会会議規則の一部を改正する規則案	可決
議案第14号	令和2年度中野市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	議第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	可決
議案第15号	令和2年度中野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定			



表紙の写真

令和3年8月前線による大雨災害

今年の8月12日からの前線による大雨により、千曲川の水位が上昇し、浸水想定区域の居住者に対して高齢者等避難が、また、市内の一部では避難指示が発令されました。

この大雨による人的・住家被害はありませんでしたが、市内の各地で土砂災害や農地への冠水、農作物への被害が確認されたほか、市道の通行止めなど、日常生活に支障を来すこととなりました。

災害はいつ起きるかわかりません。家族でハザードマップにより浸水想定区域や避難場所の確認、マイ・タイムラインを作成し、いざというときの行動を確認しておきましょう。



古牧地籍から撮影



上今井地籍から撮影

(写真提供・中野市広報)

令和3年12月中野市議会  
定例会会期日程(予定)

○開会日

11月29日(月曜日)

○市政一般質問

12月6日(月曜日)

7日(火曜日)

8日(水曜日)

○委員会

12月9日(木曜日)

10日(金曜日)

○閉会日

12月14日(火曜日)

○請願・陳情について

12月定例会における請願書および陳情書の受付は、11月15日(月曜日)の午後5時までです。

※他の行事等により日程が変更する場合があります。

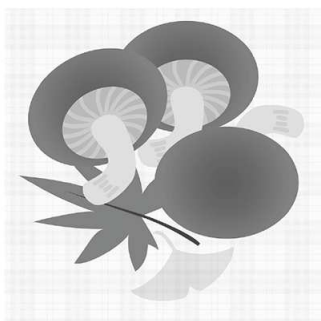


第5代後期  
議会だより

編集委員名簿

(順不同)

委員長	青木 正道
副委員長	阿部 光則
委員	松樹 純子
委員	宮島 包義
委員	中村 明文
委員	宇塚 千晶
委員	保科 政次
委員	芦澤 孝幸
委員	永沢 清生
委員	高野 良之



あとがき

9月に入り急に涼しくなり、秋本番を迎えました。

本市においては、基幹産業の農業が一番忙しい時期となります。きのこ関係は最需期となるため、冬に向け、きのこの消費が進むことを期待したいと思います。また、りんごなどの果樹類も昼夜の寒暖差により、鮮やかな着色と、糖度が進みますので、秋らしい秋となることを期待します。

しかし、台風災害だけは、あつてほしくありません。一昨年の令和元年東日本台風の記憶もまだ消えないうちに、本年も8月前線による大雨により、農地の冠水被害、道路の法面崩落など、市民生活に支障を来す災害が発生しました。

まず、非常時に備え、自分の行動を家族で話し合っておきたいものです。